

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年02月02日

計画の名称	人が集い、安全・安心に利用できる都市公園づくり												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	宇部市												
計画の目標	常盤公園活性化基本計画や緑と花の基本計画に基づき、市民の憩いの場や本市の貴重な観光資源として、常盤公園の賑わいの創出を図るため、環境学習の場や、レクリエーション、コミュニティ活動の場として利用出来るよう施設整備や施設のリニューアルを行うことにより、公園利用の促進を図る。その他の公園では、公園施設長寿命化計画に基づき、計画的に施設整備・施設改善を行うことやユニバーサルデザインに配慮した施設整備を行うことで、利用者が安全で安心して利用出来る公園を目指すとともに、公園施設に係るトータルコストの低減を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	753	A	753	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	常盤公園の入場者数を51万人／年（H27）から80万人／年（H31）に増加。 常盤公園の入場者数を測定する。 入場者数＝駐車台数×係数（2.11）	51万人／年	万人／年	80万人／年
2	公園施設長寿命化計画にもとづく施設の改築・更新目標基数に対し、改築・更新が完了した割合を100%（H31）にする。 公園施設長寿命化計画にもとづく施設の改築・更新目標基数に対し、改築・更新が完了した割合を算出する。 長寿命化計画にもとづく施設の改築・更新率（%）＝（改築・更新済み箇所／目標年次までの改築・更新必要箇所）×100	0%	88%	100%
3	便所のバリアフリー化目標箇所に対し、バリアフリー化が完了した割合を100%（H31）にする。 便所のバリアフリー化の目標箇所に対し、バリアフリー化が完了した割合を算出する。 便所のバリアフリー化率（%）＝（便所のバリアフリー化箇所／目標年次までのバリアフリー化箇所）×100	0%	50%	100%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H27	H28	H29	H30	H31					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	宇部市	直接	宇部市	-	-	都市公園事業（常盤公園）	公園面積189.4ha、園路整備、花壇施設ほか	宇部市	■	■	■	■	■	603	1.8	策定済		
	A12-002	公園	一般	宇部市	直接	宇部市	-	-	宇部市公園施設長寿命化対策支援事業	恩田運動公園他13公園における遊具の更新等	宇部市	■	■	■	■	■	90		策定済		
	A12-003	公園	一般	宇部市	直接	宇部市	-	-	宇部市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	草江街区公園他6公園における便所のバリアフリー化	宇部市			■	■		60		策定済		
												小計							753		
												合計								753	

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
社会資本総合整備計画【人が集い、安全・安心に利用できる都市公園づくり】事後評価委員会にて事後評価を実施	令和3年1月
	公表の方法 市ホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常盤公園活性化基本計画や緑と花の基本計画に基づき、市民の憩いの場や本市の貴重な観光資源として、常盤公園の賑わいの創出が図られた。</li> <li>・公園施設長寿命化計画に基づき施設の改築・更新及び便所のバリアフリー化を整備したことにより、利用者が安全で安心して利用できる公園となった。</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

・現況に合わせ見直しを行い、社会資本総合整備計画【人が集い、安全・安心に利用できるにぎわいある都市公園づくり】を策定し、都市公園事業を引き続き実施し、令和6年度の完成を目指す。

・常盤公園活性化基本計画を基に、さらに公園の魅力グレードアップさせ、情報発信も強化することで入場者数の増加を目指す。また「ときわ公園を核とした観光戦略」に基づき、新しい人の流れをつくることで、地域経済の活性化を図る。

・引き続き、公園施設長寿命化計画に基づき、計画的に施設整備や施設改善を行うことで利用者が安全・安心して利用できる公園を目指す。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	指標①（入場者数）	
	最終目標値	80万人／年
	最終実績値	78万人／年
情報を広範囲に効果的に行き届く情報発信の工夫が足りなかったため。		
2	指標②（長寿命化計画にもとづく施設の改築・更新率）	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
3	指標③（便所のバリアフリー化率）	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%